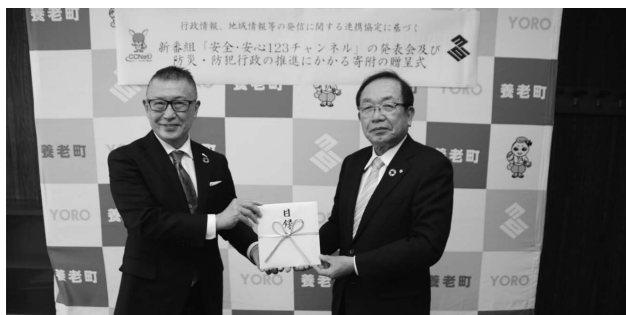


町民のいのちを守るサービスを



令和3年12月23日(木)に中部ケーブルネットワーク株式会社(CCNet・名古屋市)より防災・防犯の推進に対して100万円を寄附いただきました。また、同社の開局30周年を記念して、液晶テレビとブルーレイレコーダーも併せて寄附いただきました。

また、1月より放送開始した「安心・安全123チャンネル」の番組内容などについて奥村与幸代表取締役社長より説明を受けました。ライブカメラによってリアルタイムで映像による危機状況を視聴することができるため、早期の避難へと繋がるツールとなることを期待しています。

いただいた寄附および新番組を活用し、町民の皆さまのいのちを守る取り組みを一層進めてまいります。

社会福祉の充実したまちを目指して



令和3年12月22日(水)に藤井ハウス産業株式会社(押越)より、社会福祉の向上のために100万円を寄附いただきました。

同社の藤井博美代表取締役社長は「私たちの会社はこの町で成長してきましたし、このまちには恩返しをしたいというつもっています。母も社会福祉事業に対し、貢献したい思いが強い人でしたので、社会福祉の向上を願い寄附しました。世間はまだ暗い雰囲気ではありますが、少しでも社会の助けとなればと思います」と話しました。

いただいた寄附は、町の社会福祉事業を推進するために有効に活用させていただきます。

花と緑があふれる潤いのあるまちへ



令和3年12月10日(金)に公益財団法人だいしん緑化文化振興財団(大垣市)より町内小学校(7校)に対して花苗入プランター54セットを寄附いただきました。

栗田順公理事長は「花に囲まれて生活することや、水やりなどの世話をすることは、子どもたちの成長にとってとてもいい影響を与えることだと思い、寄附しました」と話されました。同財団は、健康で快適な生活を営むために、公園や緑地などの整備に努め、緑あふれた潤いある町づくりに向けて様々な施策を行っています。また、併せて小中学生を対象とした芸術活動への助成、図書の寄贈などの事業を行っています。

寄附された花は、各小学校の児童によって大切に育てられています。